

鳥取大学附属図書館報

Library

The Tottori University Library Information. no.107

目次

多様化社会に対応した図書館	1
シリーズ:所蔵資料紹介⑧	
『因幡民談記』について	3
ミニシリーズ・情報検索コーナーよりその⑩	
鳥取県内図書館横断検索システム	4
2006年に利用できる電子ジャーナル	5
鳥取県立図書館、鳥取市立中央図書館	
資料の利用方法と利用状況	7
ベストセラー図書コーナー紹介	8
ミニ・トピックス	9
平成18年度中央図書館カレンダー	15

※ PDFファイルをご覧いただくためには、アドビ社のアクロバットリーダーが必要です(無料)。ダウンロード方法など詳細については[こちら](#)をご覧ください。

多様化社会に対応した図書館

能 勢 隆 之

今日までの図書館は学生、教員、研究者あるいは図書館開放後の一般市民などが参考書、学術雑誌、あるいはその他の書籍の印刷された情報を閲覧したり、館内で学生への学習の場を提供することによって機能を発揮してきた。

そのため図書館に保存され閲覧される図書は、今学習しなければならない書籍や、あるいは必要とする情報をそろえて提供することに努めてきたし、大学構成員の希望を常に聴取し、それをもとに予算の範囲内で優先順位を決めて雑誌等を購入しサービスしてきた。また、教養を広げたり、一般的知識を取得するためのニーズに応えるために必ずしも学術書のみでなく、文学・芸能・スポーツ・遊びなどの幅広い情報を掲載した図書を購入し閲覧に供している。

しかし、最近では、ITや情報システムの発展により情報の入手するための方法が変化して、情報内容や情報の価値が変わってきた

し、情報の利用方法も変化している。そこで、図書館もITや情報ネットワークの発展により、情報センターとして機能することが求められるようになった。また、大学入試が多様化することにより、学生のレベルや質も多様化しているので、それらのニーズに合わせた多種の情報を提供する必要がでてきている。

まず、取り扱う情報の内容については、今までの学術、科学技術、思想、文化、歴



史などの情報のみでなく、インターネットの普及により社会の種々の情報がリアルタイムで入手可能になったので、パソコンで容易に閲覧できるサービス体制を向上する必要がある。

また、必ずしも授業に出席しなくても、もしも図書館において教員が授業で使用したビデオソフトなどの情報（講義内容等）が保存、供覧されていれば、時間表に束縛されることなく学生は受講可能となる。このことにより、学生サービスの向上になるとともに情報ネット社会に対応した新システムが構築されることになる。しかし、このことは大学本来の面接授業体制の改革につながるので大学の授業体制はどうあるべきかなどの教育方針についての検討が必要であり、もちろん全面的に可能にすることは問題がある。

さて、このような状況となると、印刷物主体に提供する図書館では対応できなくなり、根本的に変革しないと少しばかりの情報量を増やしてもニーズにこたえられなくなっている。

そのため図書館が総合メディア基盤センターの機能の一部として活動する必要もあり、この方向で時代に遅れないように機能転換しなくてはならない。

学術情報が印刷情報から電子ジャーナルに代表されるような電子情報となって流通するようになったので、図書館の規模を評価するとき未だに蔵書のタイトル数などで評価されているのは時代に合っていないと思われる。早晩に、現状に合った評価に変わりを期待している。

鳥取大学の新システムとして、総合メディア基盤センターと図書館が一緒になった

機能をもつ学術情報センター構想を立ち上げ、検討しなくてはならないと思っている。このときに、このセンターは学生の質の変化に合わせ、多様な対応が必要である。図書館に情報と異なる機能として、いこいの場の機能、リラクゼーションのためのオーディオ・ビジュアル機器を設置する空間の確保、そして仲間と談笑するための喫食などの場の提供までが必要となっている。

そのため、図書館の機能を検討するには、学術情報センターとしての機能のみにとどまらず、スチューデント・ビレッジなど大学全体のキャンパス構想と同時に検討を開始しなくてはならない。

学内的には、法人化により予算の袋は決まっているので、各部局の予算を減少させても図書館あるいは新しく構築されるであろうと思われる学術情報センターへの予算配分の合意形成が必要である。守りの図書館から攻める図書館へ発展されることを望んでいる。

(学 長)



『因幡民談記』について

錦 織 勤

自分たちが住んでいる土地の地理や歴史・文化などに興味・関心をもつのは人間の自然な心情のようで、古くから多大な情熱をもって数多くの地誌が書きあらわされてきた。とくに顕著なのは江戸時代で、日本中どこでも何種類かの地誌が作られているとあってよい。

鳥取東部の因幡地方にも、よく知られたものだけでも『因幡民談記』（稲葉民談記・稲葉民談記とも記す）や『因幡志』がある。江戸時代の多くの地誌が藩の編纂によるものであるのに対して、この二つはどちらも個人の著作であるが、近世ないしそれ以前の因幡の歴史・地理などを研究する上で、欠くことのできない重要文献となっている。ここでは、そのうちの『因幡民談記』について、少し紹介することにした。

著者は鳥取藩の侍医であった小泉友賢（1622～91）で、延宝元年（1673）ごろまでにほぼできあがっていたらしいが、その後も加筆され、最終的に完成するのは元禄元年（1688）ごろと考えられている。友賢の自筆本は享保5年（1720）の鳥取の大火（石黒火事）で失われてしまったが、写本がいくつか残っている。

本書は、絵図・系譜之部、郡郷之部、社寺之部、名所之部、国主之部、古書之部、筆記之部、詩文之部の八部、十巻構成であった。絵図・系譜之部には「布施城ノ図」「若桜鬼城図」などの古城絵図が掲載されているが、江戸初期の状況を伝えていて貴重である。国主之部には、因幡守護であった山名氏のこと、戦国期の諸勢力の動向、江戸初期の諸事件な

どが事細かに記されていて、同時代史料の乏しいこの時期についての基本的な文献として取り上げられている。古筆之部には中世～近世初期の文書を採録しているが、原本の失われたものも多く、因幡の中世史研究にとってたいへん重要な史料となっている。

刊本としては「因伯叢書」と「因伯文庫」のものがあるが、後者（1958年刊行）は本学教授であった徳永職男氏の校注によるもので、「図書館本」（鳥取県立図書館所蔵）を底本に、「西橋本」（鳥取県立博物館所蔵。明治30年に筆写されたもの）で補ったものである。現在、『因幡民談記』をみようという時には、ふつうこの本が利用されている。

話が最後になってしまったが、附属図書館所蔵の旧師範学校郷土関係資料のうちには、下に記す4種類の写本が残っている。いずれも完本ではないが、転写の過程を研究し、もとの姿を復元しようとする際などには重要な資料となるものである。

①「稲葉民談記」3冊

壺（一宮宇倍神社縁起、因州五十座神社記、当国所々古城記、当国諸家系図）

二（郡郷之部、社寺之部）

三（古書之部、名所之部）

②「稲葉民談記」2冊

一（絵図・系図之部、郡郷之部）

二（寺社之部、因州五十座神社記、当国所々古城記、当国諸家系図）

③「稲場民談」1冊（古書之部）



④「稲場民談」1冊（国主之部、上）
（地域学部 教授）

本学所蔵の稲葉民談記「布施城圖」に
みる湖山付近

ミニシリーズ・情報検索コーナーより その⑩

鳥取県内図書館横断検索システムの利用について

横断検索は複数の図書館の蔵書を一度に検索できるシステムです。このシステムを利用することで、お探しの資料の書名や著者名などを一度入力するだけで、検索先としてボタン表示されている図書館の蔵書を次々に検索することができます。鳥取県内図書館横断検索システムでは、鳥取県内の大学等および公共図書館の蔵書検索ができます。検索ができる図書館は、次の図書館です。

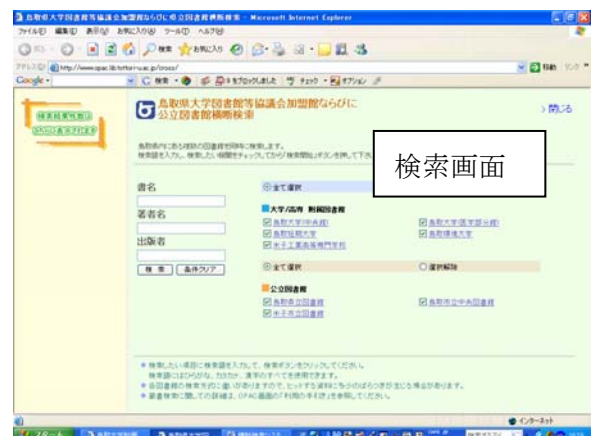
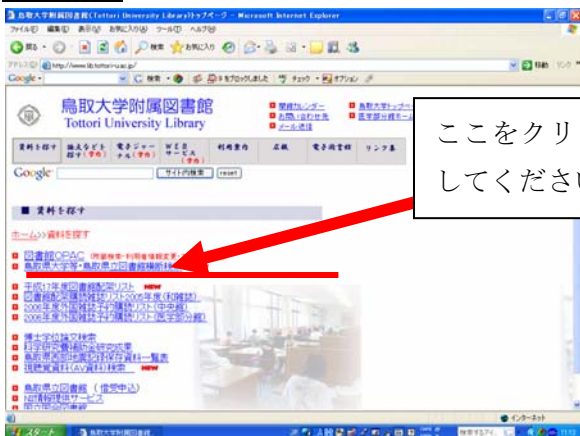
鳥取大学附属図書館中央館、同医学部分館、鳥取環境大学情報メディアセンター、鳥取短期大学図書館、米子工業高等専門学校図書館、鳥取県立図書館、鳥取市立中央図書館、米子市立図書館

検索の結果、希望の図書が見つかった場合、図書館カウンターで利用の申込をしていただければ取り寄せ致します。（鳥取市立中央図書館の場合、直接申し込んでください）なお、検索の入力方法や検索結果として表示される項目は各図書館のシステムにより異なりますので、ご注意ください。

利用方法等わからないことは、**図書館情報課学術情報係**

（内線 7060 Email: k030300@zim.tottori-u.ac.jp）にお尋ねください。

利用方法





検索結果



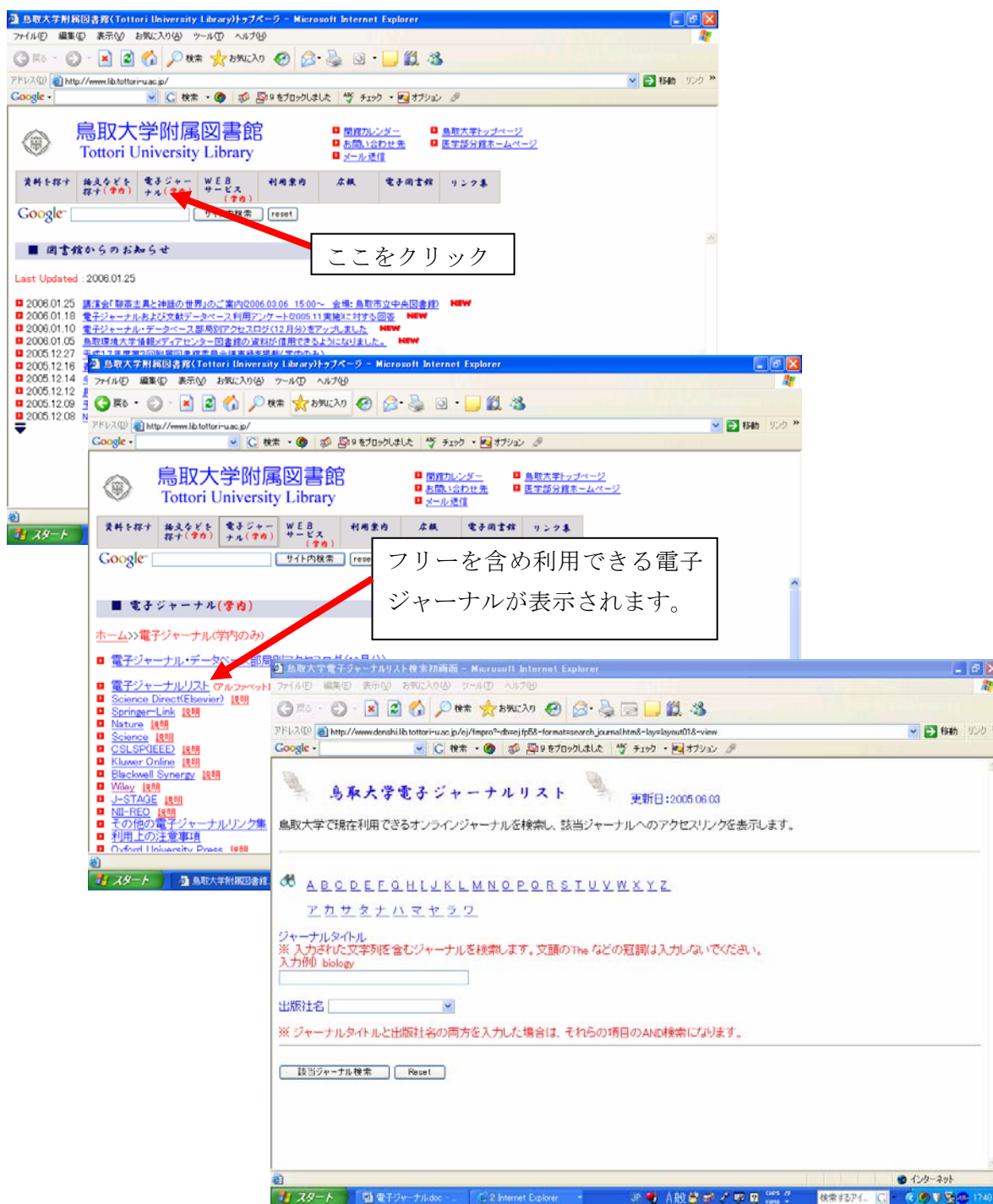
鳥取市立中央図書館の表示例

2006年に利用できる電子ジャーナル

2006年に利用できる電子ジャーナルについてご紹介します。今年度より ACS(American Chemical Society), Oxford University Press の電子ジャーナルが利用可能になりました。

電子ジャーナル パッケージ名	パッケージの内容	利用可能 範囲
Science Direct	Elsevier Science 社とその関連出版社の学術雑誌 1,800 タイトル以上が利用できます。	1995～
Springer-LINK	Springer 社・Kluwer 社出版の学術雑誌 1,400 タイトルが利用できます。	1997～
Blackwell Synergy	Blackwell 社発行の自然科学誌 (STM Collection) と人文社会科学誌 (SSH Collection) 約 800 タイトルが利用できます。	1997～
Wiley Interscience	John Wiley & Sons 社から刊行されている科学技術, 医学などの専門分野を代表する約 500 タイトルのジャーナルが利用できます。	1996～
ACS(American Chemical Society)	米国化学会 American Chemical Society (ACS)が発行するコアジャーナル 24 誌のフルテキストが利用できます。	2000～
OUP(Oxford University Press)	Oxford University Press から刊行されている 160 タイトルが利用できます。	1996～
Nature 本誌+ 6 誌	Nature Publishing Group が刊行する世界的に有名なイギリスの自然科学系雑誌 Nature の電子ジャーナル+姉妹誌 6 誌が利用できます。	1997～
Science	雑誌「Science」の電子ジャーナルが利用できます。	1997～
IEEE CSLSP-e	IEEE Computer society から刊行される雑誌 20 種類及びプロシーディングズ (現在 1000 タイトル以上) が利用できます。	1988～

その他、フリーアクセスを含め、約 6,000 タイトルの雑誌が利用可能です。図書館ホームページ (<http://www.lib.tottori-u.ac.jp/>) に利用可能電子ジャーナルのリストを作成していますのでご利用ください。



電子ジャーナルの利用に当たっては次の点に注意してください。

- ★電子ジャーナルの記事を、個人利用以外の目的で利用すること。
- ★自動ダウンロードソフト等を利用して、大量のファイルを一括してダウンロードすること。
- ★ファイルの複製および再配布
- ★著作者の同意なしに翻訳、改変などをすること。

上記のような不正使用が認められた場合、電子ジャーナルの利用が停止されることがあります。
詳しくは、図書館情報課学術情報係（内線 7060 Email: k030300@zim.tottori-u.ac.jp）にお尋ねください。

相互利用協定を締結した鳥取県立図書館、鳥取市立中央図書館の 資料の利用方法と利用状況

当館では、鳥取県内の公共図書館との連携を強化して、学内利用者を対象に鳥取県立図書館、鳥取市立中央図書館の資料を附属図書館で借用、返却ができるサービスを行っています。県立図書館の蔵書（一般図書で約 490,000 冊所蔵）は社会科学、文学、歴史関係等豊富な資料を所蔵しており、また、鳥取市立中央図書館の蔵書（約 240,000 冊所蔵）は小説や雑誌が豊富で音楽CDも借りることができます。

大学で所蔵する資料は専門的な資料が中心ですが、両図書館では一般書を豊富に所蔵していますので、本学に無い資料は、是非このシステムを利用して両図書館の資料をご利用ください。利用方法と現在の利用状況は、下記のとおりです。

★鳥取県立図書館資料の利用方法

【借りる方法】

- ① “鳥取県立図書館資料借受申込書”を記入してください。
（申込書は鳥大図書館ホームページからプリントアウトするか、カウンター前デスクにあります）
- ② 必ず「鳥取県立図書館蔵書検索」または「鳥取県大学図書館等協議会加盟館ならびに公立図書館横断検索」から資料の検索を行い、必要項目を全て記入してください。借りることができるのは、検索の結果が”利用可能”となっているもののみです。
- ③ 資料を受け取るには、**学生証か鳥取大学附属図書館利用者カードが必要です。申し込んですぐから、約2～3日後に到着します。**



鳥取県立図書館

【返す方法】

- ① 当館の入館ゲート付近にある「県立図書館図書返却ポスト」に返してください。なお、県立図書館へ出向いて借りた資料をこのポストに返す時は、必ず県立図書館へ電話をしてください。

★鳥取市立中央図書館資料の利用方法

【借りる方法】

- ① 市立中央図書館の貸出カードが必要です。

鳥取市立中央図書館



- ② 貸出カード番号とパスワードにより市立中央図書館ホームページから申し込んでください（予約処理）。

* 予約方法の詳細は当館ホームページ

(<http://www.lib.tottori-u.ac.jp/shiritsuriyoannai.htm>) をご覧ください。

- ③ 貸し出し予約の連絡が市立中央図書館からあります。月曜日 16:30、水曜日 17:05、金曜日 10:34（本学への巡回予定時間です。）のいずれかの曜日に配送されますので「市立中央図書館貸出カード」を当館カウンターに提出してください。

【返す方法】

- ① 資料と一緒にお渡しする貸出票に返却期限日が表示してありますので、それまでに当館の「市立中央図書館図書返却ポスト（県立図書館返却ポストと兼用です）」に返してください。

【貸出カードの申請方法】

- ① 市立中央図書館貸出カードをお持ちでない方は、当館カウンターにある「貸出申込書」に記入の上、学生証または職員証（当館の利用者カードでも可）を提示の上申し込んでください。
- ② 次の巡回車で貸出カードが送付されてきますので、その時にも学生証または職員証（当館利用者カードでも可）を提示願います。

★平成 17 年度利用状況(2月現在)

	利用者数	利用冊数	返却冊数	備考
県立図書館	307人	585冊	2,579冊	
鳥取市立中央図書館	68	153	349	10月より実施

ベストセラー図書コーナーの紹介

附属図書館では、平成 17 年度よりベストセラー図書を購入し、「ベストセラー図書コーナー」を設置しました。

公共図書館にはベストセラー図書が多く所蔵されていますが、当館でも学生や職員の皆様へ身近に利用していただくため、全国書店のベスト 10 と鳥取県内書店のベスト 10 を中心に購入しています。是非ご覧の上、ご利用ください。購入リストも図書館ホームページに掲載しています。



なお、予算の都合上購入できなかったベストセラーにつきましては、鳥取県立図書館や鳥取市立中央図書館へ予約ができますので、そちらをご利用ください。

【利用状況】

○平成18年1月末現在で1,146回貸出されています。ベストセラー図書の回転率は5.4回と多数利用されています。

○利用ベスト10（2005.6 - 2006.1）

順位	タイトル	回数	順位	タイトル	回数
1	その日のまえに / 重松清	16	8	半島を出よ / 村上龍	12
2	チョコレート工場の秘密 / ロアルド・ダール	15	"	瀧夜叉姫 / 夢枕獏	12
"	死神の精度 / 伊坂幸太郎	15	"	いま、会いにゆきます / 市川拓司	12
4	東京奇譚集 / 村上春樹著	14	"	サウスバウンド / 奥田英朗	12
"	風味絶佳 / 山田詠美	14	"	天使のナイフ / 葉丸岳	12
6	孤宿の人 / 宮部みゆき	13	"	頭がいい人、悪い人の話し方 / 樋口裕一	12
"	となり町戦争 / 三崎亜記	13	"	夜のピクニック / 恩田陸	12
8	世にも美しい数学入門 / 藤原正彦、小川洋子	12	"	θ（シータ）は遊んでくれたよ / 森博嗣	12

////////////////////////////////////ミニ・ピックアップ////////////////////////////////////

平成17年度公開展示と第2回講演会を開催

平成17年10月9日から15日までの1週間、第17回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア鳥取2005」が県内一円で開催されました。本学では「まなびピア in 鳥取大学」としていろいろな催しを企画して参加しましたが、当館でも10月14日（金）～15日（土）の2日間「郷土の文化人たちⅢ」と題した一般公開展示を附属図書館玄関ホールで開催しました。当館では、本学地域学部の前身である鳥取県師範学校が収集した郷土資料を受け継いでいますが、今回はそのうちから当館の所蔵する旧鳥取藩主池田家関係や郷土の文化人に

よる書画の軸物20点を展示しました。両日も学内外から郷土の歴史や書画等の愛好者約100名が来場し、学者・歌人・藩絵師等の作



品を熱心に鑑賞していました。特に土曜日は一般市民の来場が目立ち、中にはそのまま閲覧室へ足を運び読書する姿も見うけられました。

また、その第1日目の午後3時から約1時間半、本学地域学部助教授の岸本覚氏を講師に「鳥取藩主とその時代」の講演会を中央館1階会議室で開催しました。公開展示に関連したテーマであったため、展示を観て予備知識を得た上での参加者が多かったようです。今回の展示資料にもふれながら、歴代の鳥取藩主とその時代背景について文書や図の映像

を用いた詳しい解説があり、学内外から参加した約30名が興味深く聴きました。



鳥取市立中央図書館との相互協力協定調印記念シンポジウムを開催

10月29日(土)、鳥取市立中央図書館を会場として、同市立中央図書館との相互協力協定調印記念シンポジウム「日本酒の魅力、地酒の魅力～文化に支えられた伝統とハイテク醸造技術～」が、日本酒の愛好者など約60名を集めて開催されました。シンポジウムは2部構成からなり、第1部では日本酒が製造されるまでのビデオ上映に始まり、日本酒の歴史や楽しみ方、日本酒の製造法、鳥取の日本酒についてなど鳥取県東部地区蔵



元3社によるリレー講演が行われました。また、休憩



時間には参加者が実際に利き酒ならぬ利き水を行い、酒の「てり」や「色」の見方などの説明も受けました。第2部では当館の和泉図書館長をコ

ーディネーターに、鳥取県東部地区5社の蔵元をパネリストにしたパネルディスカッションが行われました。その中で、海外では日本の基準では日本酒と呼べない粗悪な品質の酒が流通し、日本酒のイメージを損ねている現状や、鳥取の米、鳥取の水にこだわって良い酒造りをしていきたいという蔵元の熱い思いなどが語られ、盛況のうちに閉幕しました。



講演会「妻木晩田遺跡と神話の世界—山陰地方と弥生文化—」

「聊齋志異と神話の世界」を共同で開催

附属図書館では、平成 17 年 12 月 16 日に本学地域学部地域文化学科地域文化調査：因幡のシロウサギ神話調査班と共催で、講演会「妻木晩田（むきばんだ）遺跡と神話の世界—山陰地方と弥生文化—」を地域学部 335 教室で開催し、学内外から約 30 名が参加しました。

これは、去る 7 月に開催した図書館講演会「稲羽の素菟を因幡で考える」に続いて本学地域学部の門田真知子教授のご尽力により実現したもので、同学部の高田健一講師に妻木晩田遺跡の特徴と歴史的背景をはじめ、考古学的考察からのその出雲神話世界とのつながりについてご講演をいただきました。



また、平成 18 年 3 月 6 日には、同調査班に鳥取市立中央図書館を加えた初の 3 者共同開催のかたちで、講演会「聊齋志異（りょうさいしい）と神話の世界」を開催しました。



ここでは同学部塩見邦彦教授に、作者である蒲松齡（ほしょうれい）がこの作品を生み出すに至った経緯や幻想的で魅力に溢れた中国怪異小説の世界をご紹介いただきました。会場を JR 鳥取駅にほど近い、鳥取市立中央図書館多目的ホールに移したこともあって、少し難しいテーマにも拘わらず約 40 名の熱心な市民が詰めかけました。大変好評でしたので、今後もこのような連携行事を積極的に進めていきたいと思えます。

故長谷川富三郎氏作

「湖畔の大学」（板画）を受贈

附属図書館ではこのたび、郷土の板画家として有名な故長谷川富三郎氏作の板画「湖畔の大学」を受贈しました。この作品は、ご遺

族のご厚意により本学に寄贈された板画の内の 1 点で、芦の生い茂る湖山池の畔から対岸の湖



山キャンパスを墨一色で描いたものです。縦長の画面一杯の大きな暗い空から無数の雪が舞い降りる中、中国山脈に抱かれて重厚な姿でたたずむ本学の学舎群がしっかりとした線で表現されています。山陰地方独特の重い冬を感じさせながらも画面上部には幽かな陽ざしが窺え、厳しい寒さの中にもゆったりとした温もりを伝える、当館の玄関ホールを飾るにふさわしい作品です。

(はせがわ とみさぶろう)

1910(明治43)年、兵庫県姫路市生まれ。1929(昭和4)年、鳥取県師範学校を卒業後、倉吉市の明倫小学校に勤務。教員の傍ら、民芸運動家・吉田璋也や陶芸家・河井寛治郎、また板画の巨匠・棟方志功らとの出会いにより板画への道を開く。作品は墨一色で表現された力強いものから裏彩色の鮮やかなものまで多彩で、日本はもとより海外へも活動を広げ、多くの作品を世に残している。2004(平成16)年8月、94歳で亡くなるまで、鳥取県を代表する板画家として活躍した。

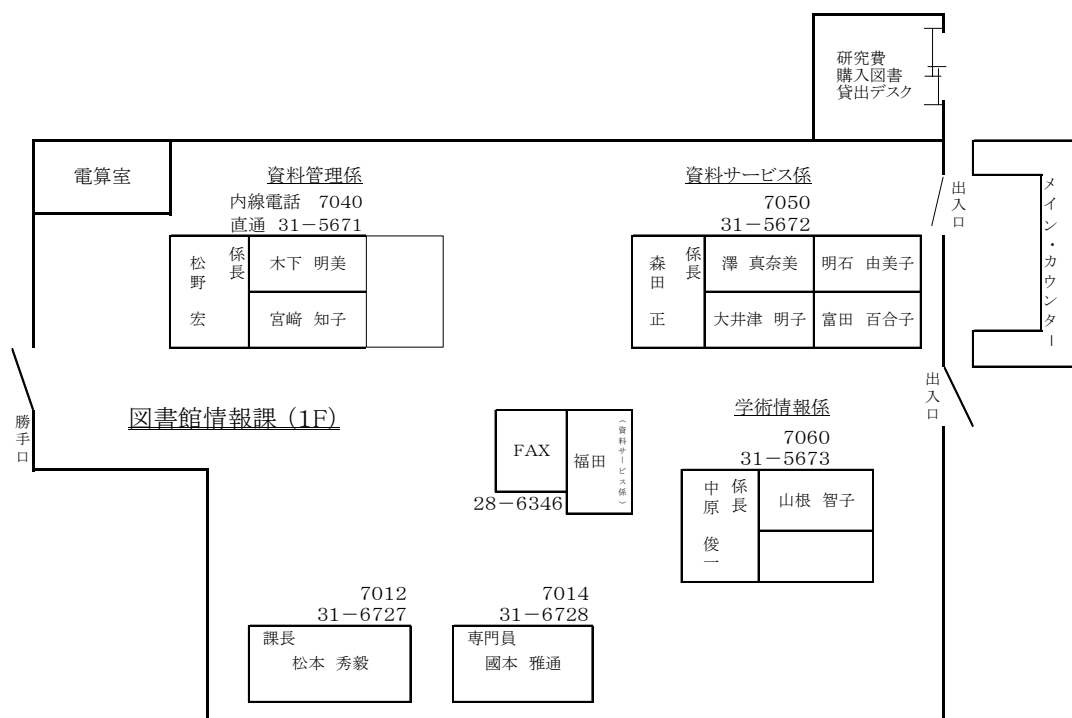


図書館1階事務室を模様替え！

平成16年4月、大学法人化に伴った図書館組織の変更があり、それまで図書館3階にいていた資料管理係を図書館1階事務室に降ろし、図書館情報課職員を1フロアに集めて課内の連携強化を図りましたが、その結果として図書館事務室の狭隘化を招くこととなっていました。

そこでこの度、図書館事務室の狭隘化解消策として、図書館事務室と隣の会議室を隔っていた壁を撤去し、図書館事務室の拡張工事を行いました。新事務室での各担当の配置は図のようになっていますので、ご案内します。

なお、図書館1階にありました会議室は、3階に移転しています。



////////////////////////////////////

平成 17 年度第 3 回鳥取地区図書館実務者連絡会議の開催

平成 18 年 3 月 1 日、県内東部の大学図書館と公共図書館（鳥取大学附属図書館、鳥取環境大学情報メディアセンター、鳥取県立図書館、鳥取市立中央図書館の 4 館）から実務担当者 13 名が参加して、標記の会議を鳥取市立中央図書館で開催しました。この会議は、業務の連携と協力を推進する方策を探るとともに、実務者レベルでの相互の図書館の充実と発展に寄与することを目的として当館と県立図書館が中心となって平成 17 年 6 月に第 1 回を開催したものです。今回は、各館の活動状況に続いて、県立図書館の新 Web サービス、鳥取大学・環境大学間の現物貸借の無料化、

県立高校（東部地区）への鳥取大学資料の貸出試行、職員相互職場体験研修予定等について報告があった後、今後の取り組みとして、レファレンスデータベースの共同作成やイベントへの相互協力などについて協議しました。



////////////////////////////////////

平成 17 年度鳥取県大学図書館等協議会総会の開催

平成 18 年 3 月 7 日、ようやく改装なった当館会議室を会場として、加盟館（鳥取大学附属図書館：幹事館、鳥取環境大学情報メディアセンター：副幹事館、鳥取短期大学図書館、米子工業高等専門学校図書館の 4 館）から 10 名が出席して標記の総会を開催しました。この協議会は、鳥取県内の大学、短期大学及び高等専門学校の各図書館の相互の連携と協力を図り、県内大学図書館等の充実と発展に寄与することを目的として、平成 13 年度に結成されてから毎年 1 回開催（今回で第 5 回）しているものです。これまで、地域に向けたセミナーの開催等の事業計画や県民への貢献策等を協議してきたほか、インターネットを活

用した所蔵情報の県内図書館横断検索システムを実現させるなどの活動をしてきました。

今回は、当館の森田資料サービス係長が「鳥大図書館における社会貢献（地域連携）の現状」と題して発表を行った後、各館の平成 17



年度の活動実績、平成 18 年度学術資料費獲得状況、中国・四国地区図書館職員の共同事業等について報告と説明があり、図書館（読書）離れを抑止するための取り組みや本協議会の

今後の活性化などについて協議しました。なお、平成 18 年度は幹事館に鳥取大学、副幹事館及び会場館に鳥取環境大学が選出されました。



平成18年度附属図書館委員会委員

(平 18. 4. 1 現在)

新年度の附属図書館委員とその任期は、下記のとおりです。なお、先の平成 17 年度第 4 回附属図書館委員会で協議の結果、これまで 12 月 19 日までであった 10 名の委員の任期を当該年度の 3 月 31 日までに変更して、すべての委員の任期を年度末に統一することとなりました。

附属図書館	館長	和泉好計	平 17. 4. 1 ~ 19. 3. 31
医学部分館	分館長	岸本拓治	平 18. 4. 1 ~ 20. 3. 31
地域学部	教授	田中 仁	平 17. 12. 20 ~ 20. 3. 31
〃	助教授	住川英明	平 16. 12. 20 ~ 19. 3. 31
医学部	教授	前田隆子	平 17. 12. 20 ~ 20. 3. 31
工学部	教授	木村 晃	平 17. 12. 20 ~ 20. 3. 31
〃	助教授	吉井英文	平 16. 12. 20 ~ 19. 3. 31
農学部	助教授	本田尚正	平 17. 12. 20 ~ 20. 3. 31
〃	助教授	伊藤啓史	平 16. 12. 20 ~ 19. 3. 31
連合農学研究科	教授	森 信寛	平 17. 12. 20 ~ 20. 3. 31
地域共同研究センター	助教授	岡本尚機	平 17. 12. 20 ~ 20. 3. 31
生命機能研究支援センター	助教授	森本 稔	平 17. 4. 1 ~ 19. 3. 31
乾燥地研究センター	助教授	安田 裕	平 17. 12. 20 ~ 20. 3. 31
大学教育総合センター	教授	福元和行	平 17. 5. 16 ~ 19. 3. 31
総合メディア基盤センター	センター長	山岸正明	平 17. 4. 1 ~ 19. 3. 31
医学部分館	運営委員	松浦達也	平 17. 4. 1 ~ 19. 3. 31

■平成18年度 鳥取大学中央図書館カレンダー■

通常：9:00～21:00

休館日

試験期：9:00～22:00

図書整理日：13:00～21:00

土日祝日開館/鳥取大学創立記念日
休業期平日
9:00～17:00

2006 4 Apr						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5 May						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6 Jun						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7 Jul						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8 Aug						
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9 Sep						
S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10 Oct						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11 Nov						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12 Dec						
S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2007 1 Jan						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2 Feb						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3 Mar						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

鳥取大学附属図書館報 第107号 (2006年4月)

【編集・発行】 国立大学法人 鳥取大学附属図書館中央図書館

〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101番地 [TEL] (0857)31-6727 [FAX] (0857)28-6346

[E-Mail] k030000@zim.tottori-u.ac.jp/ [ホームページ] <http://www.lib.tottori-u.ac.jp/>

Copyright (C) 国立大学法人 鳥取大学附属図書館 【本館報について一切の無断転載を禁止します】